

認定心理士認定委員会より

1. 認定委員会について

平成26年度の第2回認定心理士資格認定委員会が6月14日に開催されました。平成26年4月1日から5月7日までに受け付けた632件について審査が行われました。

この会議の際に報告された今年度の取得者は、既に546名(審査596名中)おり、累積の取得者数は43,591名となりました。今回申請の多かった大学は放送大学(79件)、帝塚山学院大学(65件)、武蔵野大学(44件)、大手前大学(20件)などです。

なお今回の委員会に置いて審査した新手引きによる申請数は3件でした。今後、電話や文書による多くの相談が寄せられていることもあって、増大するものと思われます。

2. 25周年記念事業について

平成27年は認定事業が始まり25周年を迎えます。認定事業が始まった平成2年度の取得者数はわずか82名でしたが、その後順調に伸び、15年経過した平成17年には3000名を超え、以後毎

年3000名を超える取得者数を維持しております。こうして累積取得者は、上記のように、4万人を超えることになりました。

認定事業は、公益社団法人日本心理学会の大きな事業の一つとして位置づけられており、25年経過を機に25周年記念事業を企画したいと考えております。そのひとつに認定心理士取得者へのアンケート調査を考えております。過去に認定心理士向けのアンケート調査は1997年と2006年の2回行われております。こうした過去の調査を参考にしながら、認定心理士取得者の、認定心理士に対して期待することなどを明らかにし、今後の本事業のあり方を探り、また集計結果をもとにした記念シンポジウムを企画したいと考えています。

3. 認定心理士会との関係について

認定心理士という名前を冠した日本認定心理士会があります。この会と公益社団法人日本心理学会との関係について、どのように考えておられるでしょうか?

実際は、日本認定心理士会と公益社団法人日本心理学会は、現在は完全に別組織です。日本認定心理士会の理事が、公益法人日本心

理学会の理事とダブることが長く続いたりしたこともあり両者の区別がつきにくくなっていた経緯はあります。しかし公益社団法人日本心理学会の認定委員会で認定された認定心理士が、組織運営上独立した日本認定心理士会の会員になる、といった関係ができてしまいました。この関係改善について長らく公益社団法人日本心理学会の理事長はじめの多くの理事関係者が、苦慮してきました。未だに解決の目途が立っていません。とはいうものの認定心理士の25周年の記念事業が開催される次年度には、そうした関係を改善した形で、日本心理学会の一組織としての認定心理士会の旗揚げを報告できることを期待しております。

4. 認定心理士電子申請について

認定心理士の電子申請システムについては検討が続けられてきております。運用開始の時期に定めて活動しておりますが、事務局の他のシステムとも連動しておりますので、遅れが見込まれます。

(日本心理学会認定担当常務理事・日本大学教授 横田正夫)

編集後記

「自閉症」ほど、様々な見解が流布し、誤解や偏見が解けないまま、人々の興味の対象になっている発達障害はないでしょう。だからこそ、最新の知見や見方を皆さんと一緒に勉強したいと、この特集を考えました。今回の特集では、研究者の方だけでなく、当事者の方にも原稿をお願いしました。当事者の生の声に耳を傾けることは、心理学的研究や支援の原点ともいえます。原稿をお寄せくださった先生方に、本当に感謝いたします。(近藤清美)

編集委員 (五十音順)

編集委員長
副委員長
委員

宮谷 真一	広島大学
小田 浩一	東京女子大学
岩壁 茂子	お茶の水女子大学
大神 優子	和洋女子大学
柏崎 秀子	実践女子大学
小森 政嗣	大阪電気通信大学
近藤 清美	東京福祉大学
杉若 弘子	同志社大学
時津 裕	徳山大学
林 創	神戸大学
樋口 匡貴	上智大学
脇田 真清	京都大学霊長類研究所
阿部 純一	北海道大学

担当常務理事

心理学ワールド [67号] 2014年10月15日発行

年4回発行(1月, 4月, 7月, 10月)

発行人—佐藤隆夫

編集・発行—公益社団法人 日本心理学会 〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル TEL 03-3814-3953

表紙デザイン—虎尾 隆 印刷・製本—銀河

制作—(株)新曜社